

中学校第2学年 外国語科 学習構想案

日 時 令和2年〇〇月〇〇日 (〇) 第〇校時
 場 所 2年〇組教室
 指導者 教諭 〇〇 〇〇
 A L T 〇〇 〇〇

1 単元構想

単元名	Unit 2 A Trip to the U.K. (New Horizon English Course 2 P.18~)		
単元の目標	(1) be going to+動詞, show+A+B, call+ A+B などを用いて, 事実や自分の考え, 気持ちなどを伝え合うことができる。〔知識及び技能〕 (2) 週末や夏休みの予定などをA L Tに伝えるために, 事実や自分の考え, 気持ちなどを整理し, 伝え合うことができる。〔思考力, 判断力, 表現力等〕 (3) 相手に配慮しながら, 英語を用いて週末や夏休みの予定などについて伝え合おうとする。〔学びに向かう力, 人間性等〕		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	「話すこと〔やり取り〕」(イ) ・be going to+動詞, show+A+B, call+A+B を用いた文の構造を理解している。 ・週末や夏休みの予定などについて, 事実や自分の考え, 気持ちなどを整理し, be going to+動詞, show+A+B, call+ A+B などの簡単な語句や文を用いて伝えたり, 相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。	「話すこと〔やり取り〕」(イ) ・A L Tに自分の予定を伝えるために, 週末や夏休みの予定などを, 事実や自分の考え, 気持ちなどを整理し, 簡単な語句や文を用いて伝えたり, 相手からの質問に答えたりしている。	「話すこと〔やり取り〕」(イ) ・A L Tに自分の予定を伝えるために, 週末や夏休みの予定などを, 事実や自分の考え, 気持ちなどを整理し, 簡単な語句や文を用いて伝えたり, 相手からの質問に答えたりしようとしている。
単元終了時の生徒の姿 (単元のゴールの姿・期待される姿)			
お互いのことをよく知るために, 週末や夏休みの予定などについて, 相手に配慮しながら, 予定や事実, 自分の考えなどを整理し伝えたり, 相手からの質問に答えたりして伝え合っている生徒。			
単元を通じた学習課題 (単元の中心的な学習課題)		本単元で働かせる見方・考え方	
「日本の中学生の夏休み」をよく知ってもらうために, A L Tの先生と「夏休みの予定」について伝え合おう。		A L Tの背景にある文化や, 興味・関心に配慮しながら, 夏休みの予定などについて, 内容や表現を工夫すること。	
指導計画と評価計画 (10時間取扱い 本時8/10)			
過程	時間	学習活動 (「問い」を設定しても可)	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」を記載
一	1	○単元の目標を理解し, 自己目標を設定する。 ○主人公の予定を読み取り, 説明する。 ○週末などの予定を伝え合い, 相手からの質問に答える。	【知】 【思】 (ワークシート・行動観察)
二	1	○対話文を引用して, 入国審査の質問と答え方を練習し, やり取りをする。 ○夏休みの予定についてやり取りをする。	【知】 (ワークシート・行動観察)
三	2	○英文から, ロンドンの名所の名前や特徴を理解する。 ○call+A+B の文を使って, ものや人物について伝え合う。 ○日本の夏の行事についてやり取りをする。	【知】 【思】 (ワークシート・行動観察)

四	2	○光太と絵美の訪れた場所について情報や感想を理解する。 ○夏休みの宿題についてやり取りをする。	【思】 (ワークシート・行動観察)
五	1	○搭乗案内や機内放送を聞き取る。 ○A L Tの夏休みの予定について聞き取り,わからないところは質問する。	【態】 (行動観察) ★【知】 (ワークシート) be going to+動詞,show+A+B, call+ A+B などを用いた文の構造を理解している。
六	2 1/2 本 時	○夏休みの予定をA L Tや友達に伝え,相手からの質問に答える。 ○自己目標の達成状況を振り返り,次の課題を明確にする。	★【思】 (行動観察) A L Tに, 夏休みの予定などを伝えるために, 事実や自分の考え, 気持ちなどを整理し, 簡単な語句や文を用いて伝えたり相手からの質問に答えたりしている。
後日	1	○パフォーマンステスト	★【知】 (パフォーマンステスト) 自分の週末の予定などについて, 事実や自分の考え, 気持ちなどを整理し, be going to+動詞, show+A+B, call+A+B などの簡単な語句や文を用いて伝えたり, 相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。 ★【思】 (パフォーマンステスト) A L Tに自分の週末の予定を伝えるために, 事実や自分の考え, 気持ちなどを整理し, 簡単な語句や文を用いて伝えたり, 相手からの質問に答えたりしている。 ★【態】 (パフォーマンステスト) A L Tに自分の週末の予定を伝えるために, 事実や自分の考え, 気持ちなどを整理し, 簡単な語句や文を用いて伝えたり, 相手からの質問に答えたりしようとしている。

2 単元における系統及び生徒の実態

学習指導要領における該当箇所(内容, 指導事項等)
<p>中学校学習指導要領 2 内容 〔知識及び技能〕</p> <p>(1) 英語の特徴やきまりに関する事項 エ 文, 文構造及び文法事項 (イ) 文構造 c(a) 主語+動詞+間接目的語+名詞 (代名詞) d(a) 主語+動詞+目的語+名詞 (代名詞) (ウ) 文法事項 e 動詞の時制及び相など 〔思考力, 判断力, 表現力等〕</p> <p>(2) 情報を整理しながら考えなどを形成し, 英語で表現したり, 伝え合ったりすることに関する事項 ウ 日常的な話題や社会的な話題について, 伝える内容を整理し, 英語で話したり書いたりして互いに事実や自分の考え, 気持ちなどを伝え合うこと。</p> <p>(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ①言語活動に関する事項 エ 話すこと [やり取り] (イ) 日常的な話題について, 伝えようとする内容を整理し, 自分で作成したメモなどを活用しながら相手と口頭で伝え合う活動。</p>
教材・題材の価値
<p>本題材は, 主人公の光太と姉の絵美がゴールデンウィークにイギリスを訪問する内容である。本題材を通して, 自分たちの予定を伝えることや, 入国審査の場面について学ぶことができる。また, 光太がビデオカメラで観光地や人気のある映画のロケ地を撮影し説明している場面は, イギリス訪問の疑似体験ができ, 題材を通して生徒の外国に対する興味や関心を高め, 異文化理解につなげることができる。</p> <p>旅行の予定を紹介する場面では, be going to+動詞を使って予定についてやり取りをしたり, 予定について尋ねたりする。また, 入国審査の場面では show+A+B を使って依頼したり, 観光地では call+A+B を使ってもものや人の呼び方を伝えたりすることを, それぞれ具体的な場面で学習する。題材を通して既習表現も含めて使用することで, 学びながら表現の幅を広げることができる。</p>

本単元における系統				
(言語活動)				
We Can! 2 6年 Unit 9 Junior High School Life. 中学校生活・部活動について伝え合う。	1年 Unit 8 イギリスの本 おすすめの本について発表する。	2年 Unit 2 A Trip to the U.K. 休暇や週末の予定について、伝え合う。	3年 Unit 3 Fair Trade Event これまでの経験について伝え合う。	
	1年 Presentation 2 一日の生活 一日の生活について友だちと伝え合う。	2年 Presentation 1 将来の夢 将来の夢について発表する。	3年 Presentation 3 中学校生活 中学校生活について発表する。	
		2年 Presentation 3 好きなこと・もの 好きなこと・ものについて伝え合う。		
生徒の実態				
■ 本単元を学習するにあたって身に付けておくべき基礎・基本の定着状況				
調査内容	よく	まあまあ	あまり	ない
be 動詞を正しく使用できる。	—	—	—	—
自己紹介を3文以上で書くことができる。	—	—	—	—
イギリスについての知識を持っている。	—	—	—	—
■ 本単元の学習に関する意識の状況				
調査内容	よく	まあまあ	あまり	ない
情報を整理しながら文をまとめることができると思う。	—	—	—	—
知っている英語の表現を使って、簡単なやり取りができていると思う。	—	—	—	—
初めて学習する言葉や表現を、使ってみようとしている。	—	—	—	—
■ 考察				
<p>(資質・能力に関して) これまで学習してきた be 動詞や一般動詞, 人称代名詞 (目的格) については, 大半の生徒が正しく使用することができる。また, 自己紹介については, 多くの生徒が目標の3文以上で書くことができる。新出の言語材料に対しては, 十分に慣れ親しませ, 自信を持って表現できるようにする必要がある。</p> <p>(学びに関して) 英語で話したり, 既習事項を使って会話を続けようとしたりする態度が育ってきているが, まだ自信を持って言えない生徒もいる。活動を工夫したり, ペア活動等で意欲を高めたりして, 自信をつけさせ, 全体で発表する場を設ける必要がある。</p>				

3 指導に当たっての留意点

- 単元のゴールを生徒と共有する際に, ALTの思いや状況を具体的に示すことで, 学習への見通しを持たせ, 意欲を高める。
- 帯活動では, 既習の WHQuestion や small talk を中心に行い, 繰り返し学習ができるよう工夫する。
- ALTの出身国や夏休みの過ごし方などを紹介しながら, 異文化への理解を深めさせるとともに目的や場面, 状況などを明確に設定し, 目的意識や相手意識を持たせて言語活動を行う。
- 学習内容の理解を深めたり, コミュニケーションを円滑に進めたりするために, ICTを効果的に活用する。
- ペア活動からグループ活動へ, 更に全体と学習形態を工夫したり相手を替えてやり取りをしたりすることで, 生徒が自信を持って活動できるようにする。
- 言語活動の途中で行う中間指導では, 内容面・言語面の両面について, モデルを示しながら具体的に指導する。
- 相手を交代する等して, 授業や単元の中で繰り返し言語活動を行う。

4 本時の学習

(1) 目標

「日本の中学生の夏休み」を知ってもらうために、ALTと夏休みの予定を伝え合い、質問したり、答えたりすることができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される生徒の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図,内容,方法等)
導入	10分	1 Warming-up ①Greeting ②Small Talk ③Review	○基本的な挨拶やALTからの質問で授業を開始し英語学習への意欲を高める。 ○Small Talkでは本時のトピックについてペアで活動する。
展開	30分	2 めあて・活動の流れの確認 ①ALTと教師のデモンストレーションを通して,本時の学習の予想を立て,めあてを確認する。 【Today's Goal】 「日本の中学生の夏休み」をよく知ってもらうために, スミス先生と「夏休みの予定」について伝え合おう。 ②活動の流れの確認 ◇夏休みについて,ALTの先生にどのように伝えようかな。ALTの先生はどんな質問をするかな。 3 Activity 1 ①夏休みの予定をペアで伝え合う。 ペアで夏休みの予定を伝え合う。更に知りたいところは質問し,質問されたものには答える。 ②英語表現などについて疑問点やよかった点を出し合う。 ③数回ペアをかえて対話をする。 ◇○○さんの夏休みは楽しそうだな。誰と行くのか聞いてみよう。 ◇○○さんのように習った表現も使ってみよう。 4 Activity 2 ①ALTと実際にやり取りを行う。 ②ALTが集めた友達の情報を全体で共有し,思いや考えを伝え合う。 【期待される学びの姿】 ALTに,既習表現なども用い,伝え合おうとしている。	○教師のデモンストレーションを見ることで活動の進め方をつかみ,どんな会話をすれば自分のことを伝えることができるかを考えるように促す。 ○必要に応じて大まかな活動の流れや主要な点を書いたメモを用いてもよいこととする。 ○ペアで考える時間等,全体で考える時間を設け,課題を解決していく。 ○中間指導では,内容や表現についてbe going to+動詞や既習表現等を使って会話をしているペアを紹介し,ポイントを全体で確認する。 【具体的評価規準】「話すこと[やり取り]」(イ)【思】(行動観察) ★ALTに,夏休みの予定などを伝えるために,事実や自分の考え,気持ちなどを整理し,簡単な単語や文を用いて伝えたり,相手からの質問に答えたりしている。 【到達していない生徒への手立て】 ○机間支援を通して,効果的な既習表現などを全体で共有・確認していく。 ○モデルを示したり,キーワードを補足したりして,好事例を紹介して活動を支援する。 ○ペア活動を行うことで,生徒同士で教え合い活動を行う。 ○机間支援を行い,助言する。 ○ターゲットセンテンスを確認する。
終末	10分	5 学習のまとめと振り返り,次時の確認 【まとめ】 予定について伝え合う時は, be going to +動詞 などの表現を使用し,相手との違いを考えながら話をする。 ①自己目標の達成状況を振り返り,次の課題を明確にする。 ◇be going to+動詞の形を使って,これからの予定を伝えることができた。 ◇友達の夏休みの予定やその思いを知ることができて楽しかった。 ◇ALTが知りたい情報を伝えた時,喜んでもらえてうれしかった。	○「夏休みの予定」についてALTにいろいろな表現を使って伝え合うことができたか,振り返る時間を設定する。 ○指導者から,活動に対する気づきを述べる。 ○次時に向けての確認をする。

【板書計画】

Unit 2 A Trip to the U.K.

July second
Friday sunny

Goal of Unit2

「日本の中学生の夏休み」をよく知ってもらうために、ALTの先生と「夏休みの予定」について伝え合おう。

Today's Goal

「日本の中学生の夏休み」をよく知ってもらうために、スミス先生と「夏休みの予定」について伝え合おう。

“Japanese students' summer vacation”

Trip

○○

Sports

Today's point

(Activity 1)

I'm going to ~

I'm going to show you a picture.

show + 人 + 物

We call this “Yukata”.

call+物(人)+呼び方

写真(夏休みに行く予定の場所)など

〈Questions〉What / Where / How / Which / Who ...

Today's Menu

- ①Warming up
- ②Introduction
- ③Activity 1
- ④Activity 2

まとめ

予定について伝え合う時は、be going to +動詞 などの表現を使用し、相手との違いを考えながら話をする。

【ICT活用計画】

例：教師による教材提示の計画, ICTを活用した発表, まとめ等による考えの共有の計画等

・電子黒板

デジタル教科書・資料動画の提示